病児保育室 あんず通信 Vol.133 令和８年 11 月号

～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

11 月：　霜月(しもつき)、10 月 28 日気象庁は、東京都と近畿地方で木枯らし 1 号が吹いたと発表しました。つい最近台風が来たと思ったら、木枯らし。11 月７日は立冬(りっとう)です。少しずつ寒くなっていきます。

～感染性胃腸炎について～

寒くなって来ると流行するのが感染性胃腸炎です。感染性胃腸炎は、嘔吐や下痢、腹痛や食欲不振で始まります。子供は一見元気そうに見えても、急に嘔吐することがあります。感染性胃腸炎の原因となるノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、サポウイルスなどは、数時間から数日のうちに感染してうつります。子供同士だけでなく、大人にもうつりますので気を付けましょう。特に気を付けたいのは、体重が 10kg に満たない乳児です。乳児は、尿を濃縮する力も弱いため、脱水症になりやすいのです。嘔吐や下痢で水分が失われるだけでなく、尿からも水分が失われていきます。オシッコが出ていても、実は脱水症になっている事があります。水分と共に、塩分、糖分も一緒に摂れる経口補水液は、脱水症の改善に有効です。味が嫌いでなかなか飲めない子供には、水分と、塩分と糖分を別々に摂らせる工夫が必要です。嘔吐が続いているときに飲ませると、すぐにまた吐いてしまう事がよくあります。吐き気止めのお薬を上手に使うなどして、一度、水分摂取を１～２時間止めてお休みしましょう。吐き気が収まってから、水分を少しずつ飲ませましょう。それでも嘔吐が続いて水分摂取出来ない時には、点滴治療を受ける必要があるかもしれません。顔色が悪く、目がうつろ、ぐったり動かないなどの症状の時には早めに医療機関を受診しましょう。

～インフルエンザ続報～

東京都では 9 月に注意報が出されましたが、10 月 29 日に公表されたデータによると、２週連続で注意報レベルを下回っていました。また、前号でも書いたように、現在流行している型は AH1pdm09 なので重症化は少ない傾向です。気温が暖かかった事も影響しているかも知れません。福生市内でも学級閉鎖はさほど多くありませんでした。これから寒くなってくると、冷える事で抵抗力が削がれます。寒さに負けない体づくりをしていきましょう。規則正しい生活、睡眠、食事の習慣で、寒さや感染症を乗り切っていきましょう。

～マイコプラズマ肺炎～

東京都感染症情報センターの感染症情報によると、9～10 月あたりから都内でマイコプラズマ肺炎がジワジワと増えてきています。マイコプラズマの潜伏期間は 2～3 週間と長めです。症状は、発熱、だるけ、頭痛、乾いた咳などです。肺炎の割には症状が軽い事が多いのですが、発熱は 5 日以上続く事もあります。また、咳は 3～4 週間続きます。治療には抗生物質を内服しますが、自然にも改善してゆきます。

表：10 月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	急性胃腸炎(ｱﾃﾞﾉ1 含む)	111
2	溶連菌（ようれんきん）	86
3	手足口病(48)･ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ(31)	79
4	インフルエンザ A	66
5	RS ウイルス	14
6	伝染性膿痂疹(とびひ)	4
7	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ(COVID-19)	3
8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2
8	ヒトメタニューモウイルス	2
8	咽頭ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ(ﾌﾟｰﾙ熱)	2

あんず通信ﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰはこちらから

～あんずからのお願い～

★空き状況は Web で

ホームページから確認出来ます。**ご予約は**前日または当日**必ずお電話で（042-513-4158）**お願い致します。

👇**空き状況はこちらから**

★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので**当日８：30 までに必ずご連絡を**お願い致します。利用ご希望の方が１人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた病名によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病気（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後、必要に応じて医師が診察をします。医療証と資格確認書又はマイナ保険証（スマホの方はマイナポータルから確認させて頂きます）をお持ちください。令和８年 8 月から従来の健康保険証は使えなくなりました。

★お薬手帳について

入室後、処方内容を確認させて頂きます。お薬手帳またはマイナポータルを拝見します。

しみず小児科・内科クリニック　文責：清水マリ子